

Inspiration Camp in AOMORI 2023

第11回



未来ひらめき

創造塾

実施レポート

青森県企画政策部地域活力振興課

開催概要

(1) 目的

青森県内及び周辺地域の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

(2) 参加者

青森県内及び周辺地域の中学生 39名（男子18名、女子21名）

(3) 開催日時

令和5年7月26日（水）～29日（土）

(4) 会場

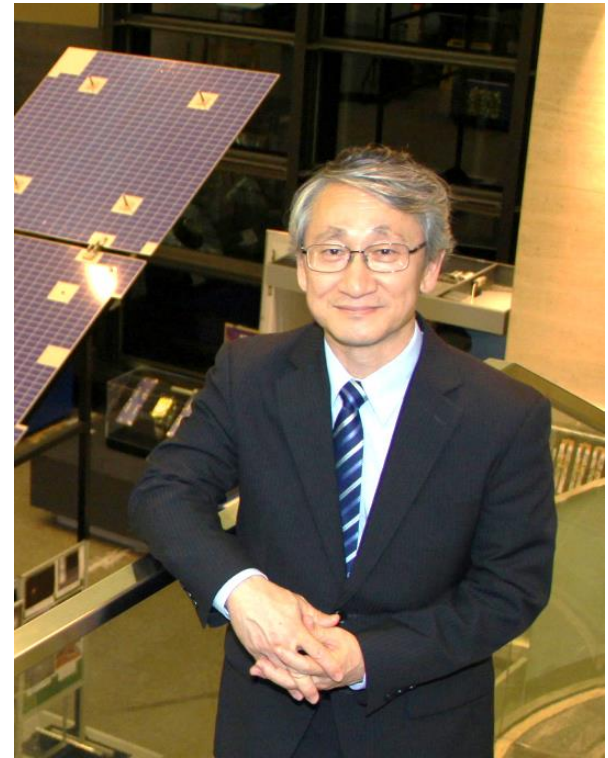
青森県観光物産館アスパム（青森市安方1-1-40）
青森県総合社会教育センター（青森市荒川藤戸119-7）
青森県総合学校教育センター（青森市大矢沢ア字野田80-2）

(5) 参加費

13,000円（宿泊費、食費、傷害保険、材料費等）

(6) 塾長

オーストラリア国立大学大学院教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「はやぶさ」プロジェクトマネージャ 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクター(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めたほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務め、2021年3月JAXA退官。現在はオーストラリア国立大学大学院教授。

全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2023 (第11回未来ひらめき創造塾) カリキュラム

		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00		
1	7/26 (水)						プログラム	受付	開塾式 13:00-13:40	準備	ウォーミングアップ 13:50-14:50	休憩	■チャレンジプロジェクト1 ＜新しい〇〇〇づくり＞ 15:00-16:50	バス移動 16:50-17:20	チェックイン	夕食 17:30-18:30	川口塾長講話 18:30-20:00	塾生交流タイム ＜レクリエーション＞ 20:00-21:00	入浴 自由時間	消灯・就寝
		青森県観光物産館アスパム											県総合学校教育センター合宿所							
2	7/27 (木)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:30-9:00	準備	◇塾生と講師のひらめき創造教室1 ＜国際コミュニケーション編＞ 世界に目を向けるとこれからが変わる 9:30-13:00			昼食・休憩 (弁当) 13:00-14:00	■チャレンジプロジェクト2 ＜世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊＞ 魅力調査・研究・プレゼン資料作成 14:00-17:30				バス移動 17:30-18:00	夕食 18:00-19:00	プレゼン資料作成 19:00-21:00	入浴 自由時間	消灯・就寝		
		合宿所		青森県総合社会教育センター											県総合学校教育センター合宿所					
3	7/28 (金)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:30-9:00	準備	◇塾生と講師のひらめき創造教室2 ＜DX編＞ データサイエンティストになろう 9:30-13:00			昼食・休憩 (弁当) 13:00-14:00	■チャレンジプロジェクト2 ＜世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊＞ 観光客へのPR実践 青森駅周辺でのフィールドワーク 14:00-16:30			成果報告会 16:30-17:30	バス移動 17:30-18:00	夕食 18:00-19:00	塾生交流タイム ＜レクリエーション＞ 19:00-21:00	入浴 自由時間	消灯・就寝		
		合宿所		青森県観光物産館アスパム											県総合学校教育センター合宿所					
4	7/29 (土)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:30-9:00	◇塾生と講師のひらめき創造教室3 ＜青函交流編＞ 水鳥たちのウェットランド食堂 9:00-12:00			後片付け・準備	閉塾式 12:30-13:00											
		合宿所		青森県観光物産館アスパム																

会場位置図

開・閉塾式 青森県観光物産館アスパム
会場 1 (青森県青森市安方1丁目1-40)

会場 2 青森県総合社会教育センター
(青森市荒川藤戸119-7)

宿泊 青森県総合学校教育センター
(青森市大字大矢沢字野田 80-2)



開塾式 (1日目 : 7月26日(水)13:00~13:40)

【出席者】

- ・ 塾生 39名、塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 小谷副知事
企画政策部次長
地域活力振興課長



【場所】

青森県観光物産館アスパム 5階あすなろ

【進行手順】

- 開会
- 塾生自己紹介
- 小谷副知事あいさつ
- 川口塾長あいさつ
- 記念写真撮影



交流企画1 <ウォーミングアップ> (1日目: 7月26日(水)13:50~14:50)

【趣旨】

共通点探しなどの自己紹介やグループでの課題解決等を通して、緊張をほぐしつつ塾生同士の交流を促し、以降の塾プログラムへの導入を円滑にする。

【場所】青森県観光物産館アスパム5階あすなる

【内容】

(1) 自己紹介タイム (25分)

お互いに自己紹介しながら、他の塾生との共通点を探し、コミュニケーションを促進する。

(2) ひらめきと忍耐とチームワークで攻略！高いタワーを作ってみよう (35分)

事前に配布したA4用紙をグループ毎に持ち寄って、高いタワーを作成する。(A4用紙以外は使わない)

【塾生の声】

- ◆ 一番初めのウォーミングアップで、みんなと交流したことで、緊張もほぐれて仲も深まったと思う。
- ◆ 複数の意見を組み合わせながら工夫して行う共同作業は新鮮なものだった。



<新しい“ゲーム”づくり> (1日目: 7月26日 (水) 15:00~16:50)

【趣旨】

道具を使わない新しいゲームを創造する。

【場所】 青森県観光物産館アスパム 5階あすなる

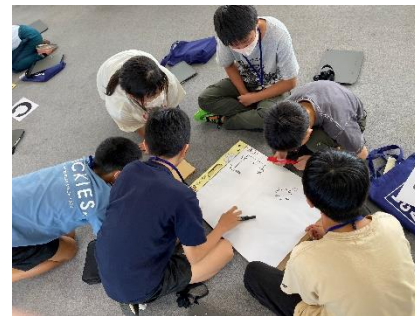
【条件】

- ① 今までにない新たなゲームを考える。
ゲームの定義: 何のためのゲームを作るかを考え、ルールに従い、(障害をクリアしながら) 目的を達成する。
- ② 他者に危害を加えることは禁止。

【内容】

- ① シンキングタイム (25分)
- ② テストプレイタイム (15分)
- ③ ブラッシュアップタイム (15分)
- ④ テストプレイタイム2 (15分)
- ⑤ 仕上げタイム (10分)
- ⑥ 全体発表・評価・講評 (20分)

塾生による投票で
1位を決定



【塾生の声】

- ◆ 1つのゲームに絞るのにたくさんのアイデアが出すぎてなかなかまとまりませんでした。完成したのをみんなが楽しんでくれて嬉しかった。
- ◆ 限られた時間で新しいものを作るというのが新鮮で面白かったです。



<川口塾長講話> (1日目: 7月26日(水) 18:30~20:00)

【趣旨】

川口塾長の講話を通して、塾生が当塾の趣旨を再確認するとともに、塾長との交流を図る。

【場所】 青森県総合学校教育センターCAD・CG室

【内容】

- (1) 講話 (70分)
- (2) 感想・質問タイム (20分)

【塾生の声】

- ◆ 普通は聞けない良い考えや宇宙開発の状況を知ることができました。
- ◆ 生物の生涯の話やこれからの世界のことについての話が印象に残っています。
- ◆ 好きな宇宙の話について (元) JAXAの人から話を聞けるなんてすごいことだと思いました。
- ◆ 川口塾長がおっしゃっていた「0から造る」という考え方について初めは疑問を抱いていましたが、話を聞いて今までにない考え方が生まれました。



＜国際コミュニケーション編＞（2日目：7月27日（木）9:00～13:00）

【趣旨】

異なる文化や価値観を受け入れるための考え方を学び、各国の教育事情と学校生活の比較を行いながらリーダーについて考え、ディスカッションを通じ相互理解とコミュニケーションを深めるとともに、創造力等を働かせグローバルリーダーシップに必要なスキルについて考える。

【場所】 青森県総合社会教育センター大研修室

【講師等】

講師：市民による国際協力実行委員会 菊池 昌子 氏
 （一社）青森市国際交流協会 斎藤 誠子 氏
 青森中央学院大学国際交流課 金川 利江子氏
 風晴 彩雅 氏

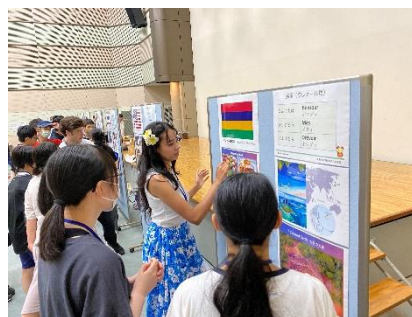
外国人ゲストティーチャー：12名
 （アメリカ、イギリス、アイルランド、モーリシャス共和国、台湾、ベトナム、マレーシア、タイ）

【内容】

- (1) アイスブレイク（見えるアンケート）（7分）
- (2) 英語でダジャレを作ってみよう！（23分）
 ～休憩中（パネルセッション）～
- (3) みんなが行きたくなる学校プロジェクト（120分）

【塾生の声】

- ◆ この塾に参加した目的であり、すごくワクワクした。アメリカの話などたくさん聞くことができ良かったです。
- ◆ 海外の方とコミュニケーションをとることが少なかったので良い経験になった。私と好きなアーティストが同じ海外の方がいて、国境を越えて語り合えたことが楽しかったです。



チャレンジプログラム2

＜世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊＞（2日目：7月27日（木）14:00～）

【趣旨】

令和5年12月に白神山地が世界自然遺産登録30周年を迎えることから、白神山地に関する調査等を行うことで、魅力を再認識し、青森を愛する心を育むとともに、フィールドワークにより観光客に白神山地の魅力伝えることで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う。

【場所】

27日（木） 青森県総合社会教育センター大研修室
28日（金） 青森県観光物産館アスパム5階あすなろ
ベイエリア周辺

【講師・協力】

合同会社白神山地ガイド会 代表社員 渡邊 禎二 氏
白神山地ビジターセンター（書籍、パネル等提供）

【内容】

- (1) 27日(木)14:00～17:30、19:00～21:00
魅力調査・研究・プレゼン資料作成（330分）
- (2) 28日(金)14:00～17:30
フィールドワーク（150分）、成果報告会（60分）

【7/27 講師による白神の魅力紹介・調査・資料作成】



＜世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊＞（3日目①：7月28日（金）14:00～）

【7/28 バイエリア周辺でのフィールドワーク】



〈世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊〉 (3日目① : 7月28日 (金) 16:30~)

【7/28 成果報告会】



<世界自然遺産白神山地の魅力を広め隊>

【塾生の声】

- ◆ 日常生活の中で見知らぬ人と関わることはあまりないですが、このプロジェクトではグループの友達と協力してプレゼン能力を高められ、知らない人に話しかけるという勇気のいることにもすぐに挑戦できたのでうれしかったです。
- ◆ フィールドワークよりも、作るときの段階の方が良かったです。みんなと意見をぶつけ合い、より最善の方へともっていけました。最もチームで協力したプログラムでした。
- ◆ 誰にでも話しかけられるようになって、勇気を育てることができた。
- ◆ 班の人と協力し、たくさん準備して成功した。「協力できた」という達成感があったのが一番良かった。
- ◆ 街中でのアンケートや意見を1つに絞るのが難しく、印象に残っています。また、調べる前にテーマを決めるというのも、面白いと感じながらやっていました。
- ◆ 知らない人に声をかけ、白神山地をPRした時、普段積極的に話しかけるということがなかったので良い経験になりました。外国の人にも英語でPRできて、良い経験になりました。
- ◆ 仲間との協力やコミュニケーション力、発信力を頑張れて良かった。
- ◆ 2日連続のグループだったのでこの塾のプログラムの中のグループではいちばん印象に残っています。また、卒塾生チームとの対戦もあり、負けたくないから良いものにしよう！とグループのみんなで試行錯誤するのが楽しかったです。
- ◆ 白神山地の知らなかった魅力に気づいたので良かったです。

<DX編> (3日目: 7月28日(金) 9:30~13:00)

【趣旨】

デジタル化が進む現代において需要が増しているデータサイエンティストの仕事内容や求められるスキルを理解した上で実際にデータに基づく課題解決の流れを体験し、新たな視点や考え方について学ぶ。

【場所】 青森県観光物産館アスパム 5階あすなろ

【講師】

株式会社Rejoui 代表取締役 菅 由紀子 氏

【内容】

- (1) データサイエンティストのお仕事紹介 (20分)
- (2) 白神山地のPRを考えてみよう (120分)
- (3) 未来のデジタルツールを考えてみよう (30分)

【塾生の声】

- ◆ 未来のデジタルツールを考えてみようという課題が面白かった。
- ◆ データを扱うことはあまり得意ではなく、データから自分で考えるということもあまりしてこなかったが、自分でデータから考えることが重要だと学んだ。これを生かして学校でデータを分かりやすく人に伝える時に用いたい。
- ◆ 専門的な話をたくさん聞くことができ、日常生活に活かしたら良いと思った。PRするときの資料の見せ方や分かりやすい説明の参考になり良かったです。



「青函交流編」 (4日目: 7月29日 (土) 9:00~12:00)

【趣旨】

湿地とそこを隠れ家や渡りの補給地として使っている無数の水鳥たちの生態を理解する。

【場所】 青森県観光物産館アスパム 5階あすなる

【講師】

水産・海洋コーディネーター 工藤 世一 氏

【内容】

(1) セッション1

湿地帯のビデオ・ジャーニーに出かけ、鳥や鳥の食べ物の取り方について今知っている知識を引き出す。

(2) セッション2

異なる形や大きさのくちばしを持った様々な種の鳥に扮してバイキング競争を行い、それぞれの「くちばし」を使って様々な種類の食べ物を集め、結果をグラフ化し、その成果を比較する。

(3) セッション3

3つのタイプの食べ物が同時に与えられた時にはどの種類の食べ物を集めたらいいか考える。グループに分かれて、学んだことをまとめる。

【塾生の声】

- ◆ 水鳥たちの特徴や、人間たちとの関係、そして人間がどのように接していかなければいけないのかがよく分かりました。



閉塾式（4日目：7月29日（土）12:30～13:00）

【出席者】

- ・ 塾生
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 知事
- ・ 地域活力振興課長



【場所】

青森県観光物産館アスパム
5階あすなる



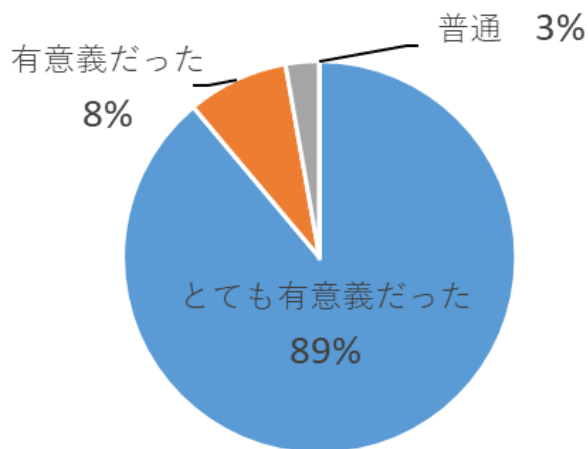
【進行手順】

- 開会
- 修了証交付
- MVPアワードの贈呈
- 知事あいさつ
- 川口塾長あいさつ
- 記念写真撮影

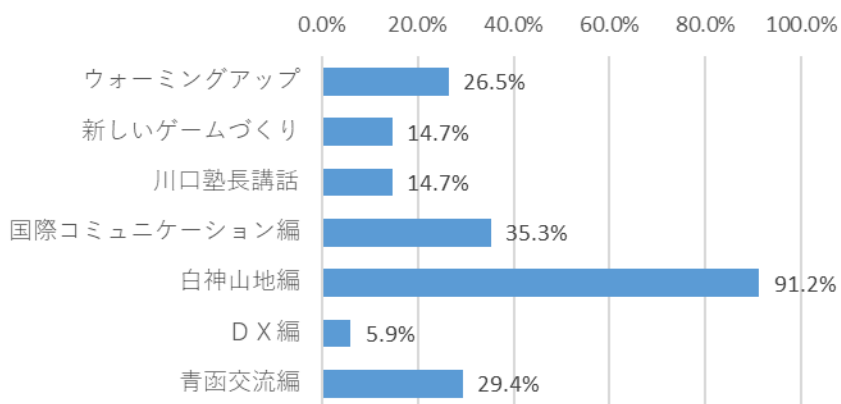


塾生の感想（事後アンケート及びレポートより）

問. 有意義な塾でしたか？



問. 特に印象に残ったプログラムは？（複数回答可）



- ◆ コミュニケーション能力をつけることができた。それぞれの意見があつて、どうすれば最善を尽くすことができるのか、互いにぶつかり合いながら考え、ベストを尽くすことができた。
- ◆ 自分の意見を発言し、知らない人とのたくさんの交流、自分自身で考える力だけでなく、チームとなって考える機会もあり、有意義な時間を過ごすことができた。
- ◆ 普段は他校の人と話すことはほとんどないため、地域によっての違いなどを感じることができ、面白かった。学年や性別を意識せず、分け隔てなく活動できて楽しかった。
- ◆ 参加者と話をしたり、意見を出したりすることが楽しかった。海外のことについて勉強することが好きだということを発見した。
- ◆ 一つ一つのプログラムが充実していて、プログラムによってグループのメンバーが替わり参加者全員と話せたので学校には無い個性にも触れられた。
- ◆ 人との関わり合いの大切さに気がついた。1人で過ごすことが好きだったが、友達ができたり、発表時には他グループの人からアドバイスを貰うなど、嬉しい経験ができた。
- ◆ 情報が溢れていて、見たり聞いたりするだけのことが多い中で、創造することの面白さを改めて実感した。
- ◆ 色々なプログラムで他の人の考えや意見、ひらめき力や想像力を経験できたことを通して、自分が積極的に出て意見をまとめたり、自分の考えを伝えていきたい。

保護者の感想（事後アンケートより）

- ◆ 他校の子供たちとふれあいながら創造塾での学びの中で様々な成長があったと感じます。とても楽しかった様子で帰宅後しばらく話しておりました。
- ◆ この創造塾で感じたこと、学んだこと、経験したこと、そして多くの人からたくさん優しさと思いやりをいただけたことを忘れずに“宇宙規模の視野”を目指して自分を信じて進んでいってほしいと願っております。
- ◆ 本人は元々、宇宙に興味があり、少し軽い気持ちで参加をしたいと申ししておりましたが、親としては、活発ではありますが、人見知りな面もあるため、全く知らない仲間と様々な体験ができるということで、自分の苦手なところや新たな面を見つける良いチャンスではないかと思い、参加できたことに大変感謝しております。
- ◆ 閉講式での笑顔と塾での活動についていきいきと話す姿を見て、今回創造塾に参加し本当によかったと思いました。学校では習得できない経験をさせていただいたことは今後においても本人の糧となることと感じています。コミュニケーション能力や広い視野を持つこと、プレゼンテーション能力の向上等、本人の掲げた目標を達成できたことに講師の先生方に感謝いたします。
- ◆ 普段では経験できないようなプログラムが準備されており（川口塾長の講義や外国の方々との交流等）、驚きました。学校外の友達をたくさん作ることができたようで、迎えに行ったときの娘の表情がとても輝いていたので、参加させて本当に良かったと思いました。
- ◆ 4日間ずっと想像力を働かせる経験ができてよかったようでした。アイデアを出す周りの仲間に刺激を受けたようでした。
- ◆ 通学する中学校だけでなく、県内の色々な場所で頑張っている友人がいることを知ったことで、日々の勉強の姿勢も良い方向に変わったと感じます。
- ◆ とても充実した4日間だったようです。様々なカリキュラムを考え、行動していく中で、たくさんのことを学ぶことができました。また、同学年の子や先輩と会話をする中で自分の考えや進路等も考えさせられたようです。
- ◆ 「出会いと体験が人生を変える」そんな思いを強く持ったプログラムでした。特に今まで出会えない人たちとの関わりは、帰宅後もとても楽しそうに話してくれました。
- ◆ 去年こちらの塾のコンセプトを読んだ際、まだ難しいかなと思い参加を諦めましたが、今回参加してみて1年に1回のチャンスを逃したことに後悔しました。娘にとってはとても有意義な時間だったようです。